

2026 祝 卒業



父 母 会 報

麻布大学

令和8年4月 発行

もくじ

- 02 父母会行事報告
各行事出席者及び組数
定期総会
- 03 地区懇談会
教員との個別面談
- 04 卒業生から…
夢
〈令和7年度卒業アルバム委員会委員長〉古家 汐葉
六年の学びを振り返って
〈令和7年度獣医学科謝恩会実行委員長〉井出澤 望
人生の転機
〈令和7年度動物応用科学科謝恩会実行委員長〉尾崎 真亜子
経験と成長
〈令和7年度臨床検査技術学科謝恩会実行委員長〉望月 美咲
4年間の感謝
〈令和7年度食品生命科学科謝恩会実行委員長〉坂本 裕哉
成長と学びの4年間と感謝の気持ち
〈令和7年度環境科学科謝恩会実行委員長〉瀬戸 響生
- 06 令和7年度定年退職者
令和7年度麻布大学学生表彰
(越智賞、日本獣医師会優等卒業生、日臨技学生表彰、
日本畜産学会優秀学生賞、学業成績優秀者、古泉賞)
- 07 令和8年度クラス担任
令和8年度麻布大学行事予定
- 08 令和8年度父母会行事予定(案)
編集後記・連絡事項

74

AZABU UNIVERSITY

定期総会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
6月14日(土)	全国	麻布大学	大教室	146人(108組)

地区懇談会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
8月30日(土)	中部・近畿・中国・四国・九州地区	栃木県	ホテルマイステイズ宇都宮	43人(28組)
9月7日(日)	北海道・東北・関東地区 (東京・神奈川を除く。)	愛知県	名鉄グランドホテル	48人(31組)
合 計				91人(59組)

教員との個別面談

開催日	対象地区	開催地	面談対象	出席数
10月25日(土)	東京都・神奈川県	麻布大学	全学科の1・2年生の 御父母を対象	214人(153組)



令和7年度 麻布大学父母会定期総会開催

開催日時 令和7年6月14日(土)

10:00～11:30 研究室訪問(受付 8号館1階ロビー)

10:30～11:15 一般教養セミナー(大教室)

演題「麻布大学における教務・学生支援の取り組み2025」

講師 伊藤 潤哉 先生

(獣医学部 動物応用科学科 動物繁殖学研究室 教授)

11:30～12:30 定期総会(大教室)

12:30～14:30 懇親会(8号館7階 百周年記念ホール)



▲定期総会



▲懇親会

今年度は、総勢108組146人の御父母が参加し、無事に定期総会を終えることができました。御来場いただいた御父母をはじめ、御協力いただきましたみなさまへ感謝申し上げます。

研究室訪問は、普段見ることのできない御子女の研究室での様子を御覧いただくと同時に、研究室の指導教員から、御子女の研究室活動等について説明を受けられました。

定期総会では、会長のあいさつ、父母会事業報告・事業計画、役員選出、大学側のあいさつ及び現況報告等がありました。

定期総会終了後、父母と教職員との懇親会が開かれ、普段なかなか接することの出来ない教員と御父母が御歓談されました。



▲一般教養セミナー

■令和7年度 定期総会及び研究室訪問参加者数

定期総会	獣医学部	獣医学科	76人(53組)
	獣医学部	獣医保健看護学科	10人(9組)
	獣医学部	動物応用科学科	26人(19組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	16人(13組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	9人(7組)
	生命・環境科学部	環境科学科	9人(7組)
	合 計		146人(108組)

研究室訪問	獣医学部	獣医学科	42人(29組)
	獣医学部	獣医保健看護学科	1人(1組)
	獣医学部	動物応用科学科	18人(13組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	6人(5組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	3人(3組)
	生命・環境科学部	環境科学科	6人(4組)
	合 計		76人(55組)



令和7年度 麻布大学父母会地区懇談会

今年度の父母会地区懇談会は、宇都宮会場（8月30日）、名古屋会場（9月7日）、2会場で実施され、各会場とも御父母とクラス担任による個別面談、御父母との懇談会が行われました。

大学側からは、村上学長、川上副学長、植竹獣医学部長、伊藤（彰）生命・環境科学部長、伊藤（潤）学長補佐（教務担当）及び柳原事務局長から、大学及び各学部の現状に関して報告がありました。

また、今年度は、伊藤（潤）学長補佐（教務担当）によるセミナー（演題：「麻布大学における教務・学生支援の取り組み2025」）を個別面談と並行して行いました。

全体懇談会終了後には「御父母と教職員の懇親会」が行われ、クラス担任の先生方との触れ合いはもちろん、御父母同士も共通の話題を通して楽しく歓談され、名残惜しい中、盛会のうちに終了となりました。

懇親会に参加された御父母からは、「次年度も是非開催してほしい」「教員や他の保護者と直接話ができ、大変参考になった」「有意義な時間を過ごすことができた」と地区懇談会の開催に対する感謝のお言葉を多数いただきました。

■令和7年度 地区懇談会出席者

学部	学科	宇都宮会場8月30日(土) 出席者数	名古屋会場9月7日(土) 出席者数
獣医学部	獣医学科	24人(16組)	37人(25組)
獣医学部	獣医保健看護学科	3人(2組)	0人(0組)
獣医学部	動物応用科学学科	7人(4組)	6人(3組)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	4人(3組)	1人(1組)
生命・環境科学部	食品生命科学科	0人(0組)	0人(0組)
生命・環境科学部	環境科学科	5人(3組)	4人(2組)
合 計		43人(28組)	48人(31組)



▲個人面談



▲懇親会



▲全体懇談会

令和7年度 麻布大学父母会教員との個別面談

大学祭開催期間中である10月25日（土）に、麻布大学にて、東京都・神奈川県在住の各学科1・2年次学生の御父母を対象に、教員との個別面談を実施いたしました。

合計153組214人の御父母が参加され、御子女の大学における生活状況や学業成績状況等の把握と今後について、御子女が所属する学科のクラス担任と情報交換を行い、好評のうちに終了いたしました。

参加された御父母からは、「実際の学校の様子が聞けて良かった」「担任の先生と直接相談ができる機会があって、とてもありがたかった」「子どもの今の成績を含めた状況、今後の流れや就職の話ができて、安心した」と教員との個別面談開催に対しての言葉もいただきました。



■令和7年度 教員との個別面談出席者

学 部	学科・学年	出席数	合計
獣医学部	獣医学科1年次	22人(15組)	44人 (30組)
	獣医学科2年次	22人(15組)	
獣医学部	獣医保健看護学科1年次	10人(8組)	14人 (11組)
	獣医保健看護学科2年次	4人(3組)	
獣医学部	動物応用科学科1年次	37人(26組)	57人 (41組)
	動物応用科学科2年次	20人(15組)	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科1年次	21人(15組)	28人 (21組)
	臨床検査技術学科2年次	7人(6組)	
生命・環境科学部	食品生命科学科1年次	15人(9組)	26人 (17組)
	食品生命科学科2年次	11人(8組)	
生命・環境科学部	環境科学科1年次	26人(18組)	45人 (33組)
	環境科学科2年次	19人(15組)	
合 計			214人 (153組)

卒業生から…



夢

古家 汐栞 A22017

卒業アルバム委員会委員長
獣医学部 動物応用科学科 4 年次

大学で過ごした4年間は、多くの知識を身につけるだけでなく、新しいことに挑戦し、自分の夢を見つけることができた大切な時間でした。私は今、カメラマンとして生きていきたいという思いを胸に、その道へ進もうとしています。

写真との出会いは、軽い気持ちで参

加した写真部でした。しかし、そこでカメラを構える楽しさや表現の奥深さに触れ、次第に本気で学びたいという気持ちが芽生えました。さらに卒業アルバム委員会に参加したことで、プロのカメラマンの方々のお仕事を間近で学び、自ら撮影に挑戦する機会にも恵まれ、夢はより確かなものになりました。

これから歩む道には、きっと多くの壁や困難が待っていると思います。それでも、大学での経験や挑戦の日々を思い出しながら、一つ一つ全力で乗り

越えていきたいです。

最後に、先生方、友人、学校関係者の皆様、スタジオワタリの皆様、そして両親をはじめ大学生活を支えてくださった全ての方々に、心より感謝申し上げます。



六年の学びを振り返って

井出澤 望 V20073

獣医学科謝恩会実行委員会委員長
獣医学部 獣医学科 6 年次

気がつけば卒業の時期が迫り、六年間の大学生活を振り返る機会が増えました。入学当初は期待と不安が入り混じる中でがむしゃらに学びを積み重ねてきましたが、今となってはその経験すべてが今日の自分を形づくっていることを実感します。

特に三年次より入室した小動物外科

学研究室での日々は、かけがえのない財産となりました。大学附属動物病院では、動物と飼い主に真摯に向き合う獣医師としての姿勢や、現場で求められる判断の重みを肌で感じることができました。これらの経験は今後獣医療に携わっていくうえで、自らを支える貴重な学びであると確信しています。

我々がここまで獣医師を志して歩み続けることができたのは、ご指導くださった先生方、そして温かく支えてくださった保護者の皆さまの存在があっ

たからこそだと強く感じています。この場をお借りして深く感謝申し上げますとともに、卒業後はその恩に応えられるよう、より一層獣医療に邁進してまいります。



人生の転機

尾崎 真亜子 A22033

動物応用科学科謝恩会実行委員会委員長
獣医学部 動物応用科学科 4 年次

麻布大学で過ごした4年間は、私の人生に大きな転機をもたらしました。

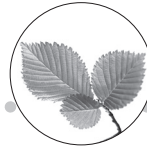
私は当時、漠然と動物を学びたいという思いから、動物応用科学科への入学を決めました。動物応用科学科では講義や実習を通して、動物について幅広く学ぶことができます。入学当初は、犬や猫などの伴侶動物に興味がありま

した。しかし、それまであまり関わることはなかった実験動物や産業動物などについても幅広く学んでいく中で、産業動物、特に牛に興味を持つようになりました。そのため、3年次で動物行動管理学研究室に入室し、牛についての研究に取り組みました。また、卒業後も酪農関係の会社に就職し、酪農家の方々のため、そして未来の酪農業界のために働きます。このように、麻布大学での4年間は、これからの私を形づくる確かな土台になりました。こ

こで得た思いや学びを胸に、これからの道を一步ずつ進んでいきます。

最後になりましたが、この場をお借りして、先生方、学校関係者の皆様、友人、そして両親をはじめ、私の大学生活を支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。





経験と成長

望月 美咲 M 22097

臨床検査技術学科謝恩会実行委員会委員長
生命・環境科学部 臨床検査技術学科 4年次

麻布大学で過ごした4年間は、多くの挑戦を通して学び、自らの成長を実感する貴重な時間でした。学生自治会では全体会計、アーティストスタッフでは長として活動し、組織を支える責任と仲間と協力する大切さを学びました。また、未経験ながら入部したバドミントンサークルでは会計を務め、新

しい環境に飛び込む勇気を得ました。

3年次からの臨地実習では、実際の現場で日々の授業や実習での学びが活きる一方、自分の知識の不足を痛感し、医療現場の厳しさを身をもって知りました。この経験は国家試験の勉強にも大きく影響し、苦手な分野を明確にしたうえで友人と意見を交わしながら理解を深め、勉強法を共有する中で、壁を乗り越える力や協力の大切さを学ぶきっかけとなりました。

これらの出会いや経験に心から感謝

し、今後は学んだ知識と経験を医療現場で活かして貢献していきたいと考えています。

最後に、この場をお借りして、大学関係者の皆様、先生方、友人、両親をはじめ、私の大学生活を支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。



4年間の感謝

坂本 裕哉 F22035

食品生命科学科謝恩会実行委員会委員長
生命・環境科学部 食品生命科学科 4年次

大学生活の4年間は、挑戦と成長の連続でした。入学当初は新しい環境や人間関係に戸惑い、授業についていくことに必死な日々が続いていました。しかし、大学生活を通して、自分の興味や得意分野が少しずつ明確になり、主体的に行動する力を身につけることができました。また、アルバイトでは、

責任を持って行動する大切さを学びました。仲間と協力し、時には意見をぶつけ合いながら乗り越えた経験は、困難に立ち向かう力を与えてくれました。この4年間で得た知識、経験、出会いは、今後の人生を支える大きな財産です。最後に、4年間支えてくれた家族や仲間、そして先生方に心より感謝申し上げます。



成長と学びの4年間と感謝の気持ち

瀬戸 響生 E22006

環境科学科謝恩会実行委員会委員長
生命・環境科学部 環境科学科 4年次

私の4年間の大学生活は、多くの学びと成長に満ちた時間でした。入学当初は新しい環境に戸惑うこともありましたが、講義やサークル活動を通して多くの人と出会い、自分の世界が広がりました。専門分野の学習では難しい内容に苦戦することもありましたが、仲間と協力して課題に取り組む中

で、知識だけでなく粘り強さや責任感も身につけることができました。特に専門分野での実習では、自分の興味を深めることができ、将来の進路を考える上で大きな経験となりました。大学生活の後半には研究室に所属し、指導教員の下で卒業論文を進めるために実験やデータ解析などを行いました。思うように結果が出ないこともありましたが、試行錯誤を重ねる中で問題解決力や探究心が培われたと感じていますが、振り返ると、この4年間は学問だ

けでなく人として成長する貴重な時間でした。最後に、4年間何事もなく大学に通わせてくれた両親、共に励まし合った友人、そして温かく指導してくださった先生方に、心より感謝しています。



令和7年度定年退職者

令和8年3月をもって、次の教職員の方々が退職されました。

授業及び学生生活において、学生達への御指導御鞭撻を賜りました教職員の方々が、この度定年を迎えられ退職されることは、本当に名残り惜しく思います。

これまでの様々な御功労に敬意を表し、感謝申し上げますと共に、今後の御活躍と御健勝をお祈りいたします。

今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

教 員

獣医学部



獣医学科
公衆衛生学第二研究室
森田 幸雄 教授



動物応用科学科
総合科学部門 生物学研究室
佐原 弘益 教授

生命・環境科学部



臨床検査技術学科
生理学研究室
岩橋 和彦 教授



食品生命科学科
食品生理学研究室
武田 守 教授



環境科学科
教職課程
小玉 敏也 教授

職員

事務局次長

小田切 夕子

総務部 監査室

堀江 洋子

学 生 表 彰

令和7年度

受賞された方におかれましては、受賞おめでとうございます。
今後の更なる御活躍を期待しております。

越 智 賞

獣医学科
動物応用科学科

V20022 白川 きくの
A22021 佐々木 康成

臨床検査技術学科 M22042 神谷 珠理
食品生命科学科 F22001 千田 理彩子
環境科学科 E22014 畑 空 騎

日本獣医師会優等卒業生

獣医学科

V20022 白川 きくの

日 臨 技 学 生 表 彰

臨床検査技術学科

M22042 神谷 珠理

日本畜産学会優秀学生賞

動物応用科学科

A22021 佐々木 康成

学業成績優秀者

獣医学科

V20025 小川 園 栞
V20058 加崎 優 奈
V20120 岩澤 周 平
V20141 岸 本 拓 己

動物応用科学科

A22010 安田 萌 音
A22025 後藤 芙 実子
A22092 角田 秀 香
A22104 長野 つむぎ

臨床検査技術学科

M22003 中條 南々帆
M22035 清水 千桜乃
M22064 木川 大 輔

食品生命科学科

F22033 竹内 心乃花
F22036 秋山 佑 介

環境科学科

E22020 深川 紗 南
E22043 羽生 英 司
E22055 古谷 勝 実

古 泉 賞

獣医学科
動物応用科学科
臨床検査技術学科

V20069 松坂 怜 央
A22059 武田 千 歳
M22079 滝 戸 達 也

食品生命科学科
環境科学科

F22029 黒田 隆 真
E22074 小田川 正 樹

2026年度クラス担任

獣医学部

年次	担当学科	氏 名	研究室等
1	獣 医 学 科	教 授 上 家 潤 一	病理学
	獣 医 学 科	准教授 五十嵐 寛 高	小動物内科学
	獣 医 学 科	助 教 堀 香 織	産業動物内科学
	獣医保健看護学科	教 授 植 竹 勝 治	愛護・適正飼養学
	獣医保健看護学科	准教授 大 仲 賢 二	獣医基礎看護学
	獣医保健看護学科	講 師 一 戸 登 夢	獣医臨床看護学
	動物応用科学科	准教授 宗 綱 栄 二	比較毒性学
	動物応用科学科	准教授 加 瀬 ちひろ	動物行動管理学
2	動物応用科学科	講 師 杉 田 和 俊	公衆衛生学第一
	獣 医 学 科	教 授 善 本 亮	薬理学
	獣 医 学 科	講 師 永 根 大 幹	生化学
	獣 医 学 科	講 師 志 賀 崇 徳	病理学
	獣医保健看護学科	教 授 大 倉 健 宏	愛護・適正飼養学
	獣医保健看護学科	准教授 今 井 彩 子	獣医臨床看護学
	獣医保健看護学科	教 授 石 井 康 夫	語学・人文学
	動物応用科学科	准教授 戸 張 靖 子	動物資源育種学
3	動物応用科学科	講 師 池 田 裕 美	動物行動管理学
	動物応用科学科	講 師 西 本 裕 樹	生物学
	獣 医 学 科	教 授 坂 上 元 栄	解剖学第二
	獣 医 学 科	准教授 村 上 裕 信	伝染病学
	獣 医 学 科	講 師 梶 典 幸	薬理学
	獣医保健看護学科	教 授 栗 林 尚 志	獣医基礎看護学
	獣医保健看護学科	講 師 小野沢 栄 里	獣医臨床看護学
	動物応用科学科	准教授 山 本 誉 士	野生動物学
4	動物応用科学科	講 師 大 我 政 敏	動物工学
	獣 医 学 科	教 授 山 下 匡	生化学
	獣 医 学 科	准教授 福 山 朋 季	薬理学
	獣 医 学 科	准教授 岡 本 まり子	感染免疫学
	獣 医 学 科	講 師 新 井 佐知子	産業動物内科学
	動物応用科学科	教 授 大 木 茂	動物資源経済学
	動物応用科学科	准教授 寺 川 純 平	比較毒性学
	獣 医 学 科	教 授 川 本 恵 子	感染免疫学
5	獣 医 学 科	講 師 大 石 元 治	解剖学第一
	獣 医 学 科	助 教 風 間 啓	産業動物内科学
6	獣 医 学 科	教 授 平 健 介	寄生虫学
	獣 医 学 科	准教授 野 口 倫 子	臨床繁殖学
	獣 医 学 科	准教授 相 原 尚 之	病理学

生命・環境科学部

年次	担当学科	氏 名	研究室等
1	臨床検査技術学科	准教授 水 口 真理子	免疫学
	臨床検査技術学科	講 師 小 山 雄 一	病理学
	食品生命科学科	教 授 大 田 ゆかり	食品微生物学
	食品生命科学科	講 師 山 本 純 平	食品栄養学
	環 境 科 学 科	教 授 伊 藤 彰 英	環境分析学
	環 境 科 学 科	講 師 坂 西 梓 里	フィールド科学
2	臨床検査技術学科	教 授 本 田 晃 子	血液学
	臨床検査技術学科	助 教 香 川 成 人	微生物学
	食品生命科学科	教 授 澤 野 祥 子	食品健康科学
	食品生命科学科	講 師 鬼 頭 久美子	フードシステム
	環 境 科 学 科	教 授 中 野 和 彦	環境分析学
	環 境 科 学 科	講 師 落 合 真 理	環境衛生学
3	臨床検査技術学科	准教授 曾 川 一 幸	生化学
	臨床検査技術学科	准教授 高 梨 正 勝	病理学
	食品生命科学科	教 授 石 原 淳 子	食のデータサイエンス
	食品生命科学科	講 師 リンチ ジョナサン	国際コミュニケーション
	環 境 科 学 科	教 授 大河内 由美子	水環境学
	環 境 科 学 科	准教授 片 平 浩 孝	環境生物学
4	臨床検査技術学科	教 授 松 下 暢 子	免疫学
	臨床検査技術学科	教 授 小野澤 裕 也	生理学
	食品生命科学科	講 師 小手森 綾 香	食のデータサイエンス
	食品生命科学科	助 教 五 味 達之祐	生命・環境科学部長付
	環 境 科 学 科	教 授 村 山 史 世	地域環境政策
	環 境 科 学 科	助 教 新 田 梢	フィールド科学

※令和8年4月1日現在

令和8年度 麻布大学行事予定

学年始め及び前期始め	4月 1日(水)	学園創立記念日	9月10日(木)
在学者健康診断	4月 1日(水) ～ 3日(金)	前期成績発表日	9月24日(木)
在学者・編入学者ガイダンス	4月 3日(金)	前期終わり	9月15日(火)
入学式	4月 6日(月)	後期始め	9月16日(水)
入学者オリエンテーション	4月 6日(月) ～8日(水)	後期授業開始日	9月28日(月)
大学院入学者オリエンテーション	4月 7日(火)	休日における授業実施日	10月12日(月)、11月23日(月)
大学院在学者ガイダンス	4月 7日(火)	大学祭	10月24日(土) ～ 25日(日)
入学者健康診断 (大学院入学者を含む。)	4月 7日(火)	後期授業一時終了日	12月25日(金)
前期授業開始日	4月 9日(木)	冬期休業期間	12月26日(土) ～ 1月11日(月)
休日の授業実施に伴う休業日	4月30日(木)、5月1日(金)	後期授業再開日	1月12日(火)
休日における授業実施日	5月 6日(水)、7月20日(月)	後期補講日	1月20日(水)
前期補講日	7月23日(木)	後期定期試験期間	1月21日(木) ～ 22日(金)、 25日(月) ～ 27日(水)
前期定期試験期間	7月24日(金)、7月27日(月) ～ 30日(木)	後期追再試験期間	2月12日(金)、15日(月) ～ 18日(木)
夏期休業期間	7月31日(金)～ 9月27日(日)	卒業式・修了式	3月6日(土)
前期追再試験期間	8月19日(水)～ 21日(金)、 24日(月)～ 25日(火)	春期休業期間	3月25日(木) ～ 31日(水)
休日の授業実施に伴う休業日	8月10日(月)、9月11日(金)	後期終わり及び学年終わり	3月31日(水)

※学科・学年により日程が異なる場合があります。
※上記の日程等は変更になる場合があります。

■令和8年度 麻布大学父母会行事予定(案)

1. 理事会・代議員会・定期総会

予定日	事 項	内 容
5月9日(土)	5月理事会	定期総会開催等について：15時00分～16時30分
6月13日(土)	代議員会	定期総会開催等について：10時30分～11時15分
	定期総会	予算案及び活動方針等の承認 研究室訪問：10時00分～11時30分 セミナー：10時30分～11時15分 (令和7年度は、一般教養セミナーを実施)
		総 会：11時30分～12時30分 教員と父母との懇親会：12時30分～14時30分
12月12日(土)	12月理事会	令和8年度中間報告及び令和9年度活動計画案等 ：15時00分～16時30分

2. 地区懇談会(2会場)

予定日	対象地区	開催地	会場名
8月29日(土)	北海道・東北・関東地区 (※東京・神奈川を除く。)	宇都宮市	宇都宮会場 (ホテルマイステイズ宇都宮)
9月5日(土)	中部・近畿・中国・四国・九州地区	大阪市	大阪会場 (ホテルグランヴィア大阪)

セミナー(令和7年度は、一般教養セミナーを実施)：13時00分～13時30分
 全体懇談会(大学関係者等あいさつ)：13時30分～15時00分

3. 教員とのオンライン面談

予定期間	対 象	開催方法	備 考
10月中旬～ 11月下旬	全地域・全学年	オンライン	詳細は別途 ご案内いたします

●住所等の変更について

御父母の住所、電話番号等に変更がありましたらお手数ですが、教務・学生支援課(学生支援担当)窓口にある「変更届」を御子女より提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●弔慰・見舞について

学生又は御父母に御不幸があった場合、弔慰又は見舞金をお支払いできる場合がありますので、教務・学生支援課(学生支援担当)まで連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●編 集 後 記

父母会会員の皆様方におかれましては、御健勝でお過ごしのことと御推察申し上げます。

さて、父母会会報第74号の発刊に当たりましては、

卒業アルバム委員会委員長 古家 汐菜さん(A22017)、
 獣医学科謝恩会実行委員会委員長 井出澤 望さん(V20073)、
 動物応用科学科謝恩会実行委員会委員長 尾崎 真亜子さん(A22033)、
 臨床検査技術学科謝恩会実行委員会委員長 望月 美咲さん(M22097)、
 食品生命科学科謝恩会実行委員会委員長 坂本 裕哉さん(F22035)、
 環境科学科謝恩会実行委員会委員長 瀬戸 響生さん(E22006)

から御執筆いただきました。御協力誠にありがとうございました。また、学生表彰受賞者の皆さま、おめでとうございます。今後の御活躍を期待しております。これからも、この会報が父母会の情報誌として、会員の皆様方に提供できるよう編集を心がけていきたいと思っておりますので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。